

報道関係者各位

2009年1月25日

□第六報□

セーブ・ザ・チルドレン ハイチ地震緊急支援活動

災害から2週間

親と離れ離れになった子どもの再会支援に尽力

社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン

子ども支援の国際 NGO セーブ・ザ・チルドレン (SC) は、支援と調査の対象をポルトープランスからさらに、ジャクメル、レオガン、カルフルにまで拡大し、水、食糧、医薬品や避難設備など日常生活に必要なニーズに対する緊急支援を続けています。同時に、子どもたちの保護を最優先事項として、子どもたちの安全確保と家族との再会支援に尽力しています。

今回の災害で、最も脆弱なのは子どもたちです。特に親と離れ離れになった子どもに、安全で健全な生活を確保することができるための支援が必要です。SC は、キャンプや避難所においても子どもたちが安心して遊べる場所を提供しています。このような場所では、震災で受けた心の傷のケアも行うことができます。同時に、ハイチ政府と協働し、親と離れ離れになった子どもの身元確認と、再会支援を推進しています。現在、訓練を受けたおよそ 50 名の専門家とスタッフによって、子どもたちの避難先の特定を行っています。これらの専門家たちは、コミュニティと協力し、子どもたちが親と再会を果たすまで子どもたちの安全を守ります。多くの子どもたちが、地震の際に、学校にいたり、親が仕事だったため、親や家族と離れてしまいました。また、震災後、治療を受けるために別の場所に搬送され親と離れたり、親が食糧や仕事を探しに出かけたため、一時的に置き去りになった子どもたちもいます。SC は、子どもたちの安全の確保と家族との再会のための活動に全力を傾けます。



Adriana Zehbrauskas/Polaris

今回の災害で、最も脆弱なのは子どもたちです。特に親と離れ離れになった子どもに、安全で健全な生活を確保することができるための支援が必要です。SC は、キャンプや避難所においても子どもたちが安心して遊べる場所を提供しています。このような場所では、震災で受けた心の傷のケアも行うことができます。同時に、ハイチ政府と協働し、親と離れ離れになった子どもの身元確認と、再会支援を推進しています。現在、訓練を受けたおよそ 50 名の専門家とスタッフによって、子どもたちの避難先の特定を行っています。これらの専門家たちは、コミュニティと協力し、子どもたちが親と再会を果たすまで子どもたちの安全を守ります。多くの子どもたちが、地震の際に、学校にいたり、親が仕事だったため、親や家族と離れてしまいました。また、震災後、治療を受けるために別の場所に搬送され親と離れたり、親が食糧や仕事を探しに出かけたため、一時的に置き去りになった子どもたちもいます。SC は、子どもたちの安全の確保と家族との再会のための活動に全力を傾けます。

【ハイチ孤児の養子縁組に関して】

今回の地震によって親を亡くした孤児は数万人にのぼるとみられ、SC にも善意による養子縁組の要請をいただいています。しかしながら、SC は、これまでの長い経験からも、子どもたちにとって、可能な限り生まれた国で、家族やコミュニティによって守られながら生活を建て直すことが最良であると考え、早急すぎる養子縁組を懸念しています。特に、地震の直後では、子どもたちが本当に孤児になってしまったかを確認するシステムさえもなく、細心の注意を払い時間をかけて子どもたちの状況を検証する必要があります。まずは家族を捜す努力をし、家族との再会を可能な限り推進することが重要です。

これまでのおもなハイチ地震緊急支援

- ・85,000 人に医薬品を配布。
- ・300 の生活用品キットをポルトープランスの仮設キャンプで 1,500 人へ配布。
- ・レオガンの移動クリニックでは、1 日およそ 100 名の患者を診察。
- ・訓練を受けた 70 名のヘルスワーカーが、別に開設されたクリニックで診療開始。
- ・4 つの移動ヘルsteam (医師 1 名、看護婦 1 名で編成) がジャクメルで診察開始。
- ・6 つのチャイルドフレンドリースペースを開設。5 日間で 2,000 人の子どもたちを受け入れ。

ハイチ地震緊急支援基金のご寄付のお願い

【ゆうちょ銀行から】口座番号 00980-7-57019 加入者名 セーブ・ザ・チルドレン・緊急援助基金

問) 0120-317-502(平日 9:30~18:00)、e-mail donation@savechildren.or.jp 件名「ハイチ振込用紙希望」と記入

【クレジットカードでご利用の場合】

<http://www.savechildren.or.jp/contribute/index.html> 「緊急支援に寄付する」を選択

■セーブ・ザ・チルドレン

1919年に設立した子ども支援NGO。数少ない団体にだけ認められた、国連経済社会理事会(UN ECOSOC)のNGO最高資格である総合諮問資格(General Consultative Status)を取得しています。年間予算は1,000億円を超え、現在、世界で29カ国のそれぞれ独立した組織が、パートナーを組み、世界最大のネットワークを活かして、120カ国以上で活動を展開しています。90年渡る活動は、世界のNGOの代表格として各国政府からもその重要性を認められています。